

## 令和7年度第12回合同教育研究会議事概要

### 1 開催日時

令和8年3月25日 13時00分～13時40分

### 2 場所

本部棟3階 特別会議室

### 3 出席者

鈴木学長、高橋副学長兼教育支援本部長兼教学IRセンター長、亀田副学長兼研究・地域連携本部長、鈴木副学長兼事務局長、高嶋学生支援本部長、猪股企画・広報本部長、高橋高等教育推進センター長、工藤看護学部長、中谷社会福祉学部長、橋本ソフトウェア情報学部長、Tee総合政策学部長、川崎盛岡短期大学部長、田中宮古短期大学部長、永富委員（学外委員：東北大学産学連携機構特任教授）、宮本委員（学外委員：岩手大学人文社会学部教授）

#### [オブザーバー]

米内事務局次長兼総務室長、中川教育支援室長、松崎学生支援室長、佐藤研究・地域連携室長、千葉企画・広報室長

#### [事務局]

高橋副参事兼総務財務課長、森主幹、伊藤主任主査

### 4 会議の概要

#### 議事録確認

前回会議3月10日の議事録（議事概要）については、原案のとおり承認された。

#### 審議事項

なし

#### 協議事項

#### (1) 「岩手県立大学ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン推進基本指針」の改訂（Version3）について

米内次長兼総務室長から資料に基づき説明があった。

委員から、本方針の構成として、土台となる考え方の中にダイバーシティ等を盛り込んだ上で基本方針や分野別の取組方向を位置付けていることや、分かりにくいカタカナ用語の解説を盛り込んだ点などが評価できること、また本方針をさらに理解しやすくするために、建付け等がひと目で分かるポンチ絵があるとよいとの意見があった。

また鈴木学長から、「少子高齢化」ではなく「少子高齢」への文言修正に関する意見があった。

協議の結果、原案のとおり承認された。

## 報告事項（口頭報告）

(1) 「研究環境の整備等に関する戦略（仮称）」について

(2) 「岩手県立大学研究データポリシー」の制定について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき議事2件に関する説明があり、学部等へ照会した結果、内容に大きく関係する意見は寄せられなかったため、令和8年2月教育研究会議へ付議した案のとおり制定する旨の報告があった。

(3) 令和8年度科学研究費助成事業研究種目別採択状況及び令和9年度科研費申請に向けた取組について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

鈴木学長から科研費の採択率について質問があり、継続分を入れると実際の科研費採択率はもう少し向上する旨の回答があった。

(4) 令和7年度第2回研究インテグリティ・マネジメント委員会の開催結果について

佐藤研究・地域連携室長から、資料に基づき説明があった。

委員から、研究インテグリティガイドラインの配布方法について質問があり、デスクネット及び研究情報をまとめたウェブサイト内に掲載する旨の回答があった。

(5) いわて高等教育地域連携プラットフォームに係る取組及び今後の対応について

高橋副学長から、資料に基づき説明があった。

鈴木学長から、3月下旬の公立大学協会主催の学長研修会での東海国立大学機構による講演について紹介があり、エリート養成機関として始まった国立大学においても、社会や地域の中の大学として取り組んでいる旨の説明があった。あわせて、本プラットフォームを実際に動かすときには、授業時間の違いや単位互換をどのように行うか等について、知恵を絞る必要がある旨の意見があった。

(6) 本部長会議及び大学運営会議の見直しについて

千葉企画・広報室長から、資料に基づき説明があった。

## 報告事項（資料報告）

(1) 令和8年度入学式（滝沢キャンパス）の実施概要について

委員から、地域構想や産学連携等に関する人材育成プログラムを進める際は人的なネットワークが重要になると考えるが、人がつながる手段の一つとして共通のものを持っていることが一体感の醸成に役立つと思われるため、学生自身が主導して学生歌をより学生に浸透させたり、地域住民に知ってもらう機会があるとよいのではないかと意見があった。

## その他

- 今年度末で学外委員を退任される宮本委員から、退任の挨拶があった。

以上